

高齢者の暮らしを応援!

地域包括支援センターだより

岡金屋庁舎 ☎ 32-5102 (直通)
清水行政局 ☎ 25-1269 (直通)

有田川町地域包括支援センターでは、介護予防などの相談に応じています。

おたっしやさ〜ん! ~これからも現役! いつまでも現役!~

辻岡 博之 さん (83歳)

「梅の木の世話が日課です！」

辻岡さんは病気のため一時は寝たきりの状態になりましたが、現在、家では車いす、屋外では電動カートを活用して生き生きと生活されています。

日課は電動カートで自宅近くの梅畑へ行き、梅の木の世話をすること。毎日午前と午後の2時間ずつ、辻岡さんが苗から育てた20年もの梅の木を大切に手入れし、毎年6月に出荷しています。「動いてやなあかんよ」と取材時畑の中に電動カートで入り、梅の木の剪定を見せてくれました。

梅畑はふれあい農園の隣にあり、毎日10人ほどの人が畑仕事に来るので、野菜や花作りの話を仲間とするのも元気のもとだそうです。



※「おたっしやさ〜ん」募集中! 自薦他薦は問いません。ご連絡お待ちしております!

ロバつうしん

— 認知症キャラバン・メイト連絡会活動報告 —

令和4年(2022年)11月20日(日)、第一回ありだがわ楽市へ参加しました。当日は、認知症サポーターの有田中央高校の生徒がキャラバン・メイト連絡会メンバーと一緒に認知症の正しい理解の普及のため、啓発活動を行ってくれました。いつもはメンバーのみでの活動ですが、生徒たちの若い力を巻き込んで、活気ある啓発活動となりました。

有田中央高校では本校、分校ともに全校生徒で養成講座受講し、認知症サポーターとして地域で活動してくれています。

キャラバン・メイト連絡会は、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し「認知症サポーター養成講座」の開催など自主的に活動しています。



認知症キャラバン・メイト連絡会の皆さま